

# しゅわきょうげん 手話狂言ワークショップ



## 日本ろう者劇団 手話狂言「附子」

聞こえる人も  
聞こえない人も

このあたりのものでござる



### しゅわきょうげん 手話狂言はどうやって演じるの？

狂言の一場面を、  
狂言と手話狂言それぞれで演じてみます。  
「名乗り」「道行き」といった狂言の代表的な場面が、  
手話狂言になるとどのように表現されるのか、  
違いを見比べてみましょう。



### しゅわきょうげん えん 手話狂言を演じてみよう！

狂言のセリフを手話で演じてもらいます。  
次に二つのグループに分かれて、  
狂言のセリフの掛け合いを、  
手話で演じてみましょう。

イラスト：砂田アトム



社会福祉法人 トット基金  
理事長 黒柳 徹子

日本ろう者劇団のレパトリーの中で、最も力を入れているのが手話狂言です。なにもかも手探りの「世界ろう者演劇祭典」（1983年）に参加したイタリアのパレルモが、はるか昔のこのように思えます。  
あれから、演目も少しづつ増え、日本各地、世界各国のお客様に喜んでいただいています。「狂言って、こんなに面白いって知らなかった！」見終わった後、こうおっしゃるお客様がたくさんいらっしゃるのも嬉しいことです。とにかく楽しんでいただけることは絶対です。ぜひ、ご覧いただきたいと思います。そして、よろしくお願ひします。

### がっこうじゅんかいこうえんじぎょう 学校巡回公演事業

小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、  
子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、  
将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。  
ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。  
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。

# プログラム

## 【第一部】

ごあいさつ

あらすじの紹介

手話狂言「附子」

～休憩 10分～

## 【第二部】

手話狂言ワークショップ

### 手話狂言「附子」のあらすじ

お屋敷のご主人さまが、家来の太郎冠者と次郎冠者を呼び出して、手桶を持ち出すと、「あの方から吹く風に当たっても滅却してしまう『附子』という毒が入っているから、気をつけて番をするように」と言いつけて、出かけていきました。好奇心旺盛な二人は、なんとかして毒気に当たらないように、手桶の中の『附子』を見ようとするのですが、そこには思いもよらぬものが入っていたのです。



### きょうげん 狂言について

私たちの国の代表的な伝統芸能に、今から700年近く昔の、室町時代に成立した「能」と「狂言」があります。この二つを合わせて「能楽」と呼ばれています。世界中から高い評価を得ている「能楽」は、2001年に世界無形文化遺産の一つに選ばれています。



### 手話狂言について

狂言は「笑い」の劇です。太郎冠者や主人、大名、山伏など、さまざまな登場人物たちが笑いの世界を繰り広げます。狂言のセリフは室町時代から江戸時代までの古いことばです。手話狂言では、日本ろう者劇団の手話の演技と、狂言師の声の両方で、表情豊かに演じるので、聞こえる人も聞こえない人も、共に楽しむことができます。